

令和4年度事業報告書

自 令和4年4月 1日

至 令和5年3月31日

1. 事業概要

一般財団法人奈良市総合財団は、奈良市が設置する公共施設の指定管理者として、利用者の視点に立った管理運営に努め、多様化するニーズに応じてあらゆる人にとって利用しやすい施設を目指すとともに、文化・スポーツ・武道の普及振興事業及び「ならまち」・「都祁地域」の歴史文化資産を利用した地域振興事業並びに中小企業勤労者に対する福利厚生事業を実施し、文化の創造及び市民福祉の増進に努めた。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策については、細心の対策を講じて、市民の皆様が安心・安全に利用できるよう施設管理や事業の取り組みを進めた。

当財団の運営に当たっては、全ての職員が経営改革の意識を強く持って財団の運営を進め、組織統制の整備や職員の育成を積極的に進めた。

また、奈良市の進める行財政改革の方針により、さらに厳しい対応が求められており、自らの経営基盤の財源確保を図るべく収益性の強化を進めて、さらには経費節減と事業の質的向上に取り組む一方、市民や利用者の要請にきめ細かく応える為の努力を重ね地域社会の発展に寄与するべく事業運営を進めた。

2. 事業内容

各施設の設定趣旨等を踏まえた管理運営と文化の創造と福祉の増進に寄与することを目的として文化振興事業、スポーツ・武道普及振興事業、まちづくり振興事業、勤労者福祉サービス事業、都祁地域振興事業を推進した。

(1) 文化振興事業

[指定管理施設]

管理施設の入館者数は以下のとおりであった。 ※（ ）内は対前年度比

なら100年会館	入館者数	166,402人	(78.3%)
奈良市美術館	入館者数	40,309人	(66.5%)
奈良市北部会館市民文化ホール	入館者数	57,658人	(24.2%)
奈良市杉岡華邨書道美術館	入館者数	4,756人	(54.5%)

新型コロナウイルス感染症の影響で施設の利用制限、事業の中止もあったが、細心の感染症対策を講じた施設運営により、入館者は前年度より大幅に増加し、なら100年会館では、約73,000人、奈良市北部会館市民文化ホールは、約11,200人の増加となった。

奈良市美術館でも貸館のキャンセルもあったが、入館者数においては、主催事業であるオープンミュージアムプロジェクトの展覧会で予想を大幅に上回ったため、前年度より約16,100人の増加となった。

奈良市杉岡華邨書道美術館は、規制が緩和されたことにより前年度より入館者数は約1,700人の増加となった。

(事業内容)

豊かな市民文化の形成を図り、鑑賞・創造・学習を柱に市民の美術鑑賞と創作活動の活性化に寄与するための事業を実施した。

○なら100年会館

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた上で、若者や中高年齢層をターゲットとした山下達郎、近藤真彦や高嶋ちさ子、大黒摩季、Saucy Dog、藤井フミヤ等の人気溢れるアーティスト達によるコンサートの実施、市民の芸術文化鑑賞を高める催しとして桂米朝一門会の落語会や笑い飯哲夫の仏教講座等の公演、子ども達やファミリー向けのコンサートや人形劇公演、その他、なら100年会館の持ち味を生かした3種のピアノを弾き比べできるピアノ試弾会を開催する等、事業数を増し、幅広い年齢層の市民の方々に音楽鑑賞やLIVE公演の素晴らしさを体感していただくことができた。

また、定員数を見直す等の感染症対策を講じた上で健康いきいき講座（ヨガ教室、ソフトストレッチ教室、ピラティス教室）を開催し、市民の日常生活の一助に健康維持に寄与することができた。

催事等の開催回数 308回 参加人数 53,305人

○奈良市美術館

全ての事業において、奈良市の対応方針による感染症対策を講じた上で開催した。

主催・共催による展覧会として、奈良市美術家協会と連携して会員による優れた作品を展示する「第41回奈良市美術家展」、美術作品の創作意欲を高めるための公募展「第41回市展なら」、近代奈良の芸術、歴史、生活文化を掘り下げて紹介するシリーズの企画展「奈良を観る」、児童生徒の図工美術の成果を紹介する「第19回奈良市児童生徒作品展」、市内中学校の美術作品を紹介する「第3回奈良市中学校美術部合同展 若鹿たちの美術」、子どもから大人まで楽しめるオープンミュージアムプロジェクト「妖怪POP 妖怪書家 逢香展」を開催し市民文化の創造と振興の促進を図った。

その他、講座関連事業として、奈良の奥深い魅力を散策しながら紹介する「奈良の散歩道」、奈良市美術家協会や奈良女子大学との連携協力による「2022年度市民実技講座・親と子のやさしいアート体験」、「第40回市民実技講座作品展」、「仏教美術講座」を開催し芸術文化の発信に寄与した。

催事等の開催回数 29回 参加人数 19,778人

○奈良市北部会館市民文化ホール

文化施設利用のための奈良市の対応方針、各種感染防止ガイドライン等を遵守した上で、文化サークル活動が活発な地域性を生かし「高の原文化・健康講座」を24講座、伝統文化の継承・異世代交流の場として「和楽器講座」、地元の音楽芸術協会と連携し「高の原音楽芸術協会演奏会」や「けいはんな音楽コンクール」、邦楽演奏家により邦楽の心を伝える「邦楽コンサート」、地元の奈良大学と連携した市民向け公開講座「高の原カルチャーサロン」、優れた演奏を身近に鑑賞する機会を提供する「癒しのオータムコンサート」を開催した。また、地元で活発に活動する平城ニュータウン文化協会と連携し各講座・同好会の作品展示、舞台発表を行う「平城ニュータウン文化祭」を開催し、地域の賑わい作りに寄与した。

催事等の開催回数 737回 参加人数 10,822人

○奈良市杉岡華邨書道美術館

企画展として、平安時代の古筆や奈良時代の古写経といった貴重な資料を公開する初の展覧会の第2回展となる「成田山書道美術館所蔵 松崎コレクションの古筆と古写経②」や、書芸術や書教育などで活躍する多くの人材を輩出してきた書の専門教育を行う大学に焦点を当て紹介するシリーズ展の第2回となる「大阪教育大学で学んだ書家群像」展、杉岡華邨氏の没後10年展「私が選ぶ杉岡華邨展」を開催した。

館蔵品展「杉岡華邨生誕110年 華邨が書く尾上柴舟の歌と時代」では、華邨が尾上柴舟に師事した時代の作品や、柴舟の歌を書いた作品を紹介した。

書道実技講座では「うちわに書こう」、「カレンダーを書こう」のワークショップと高木厚人館長による、かな作品を実作する方を対象に通信添削と講評会で指導する「かなの散らしを楽しむ」講座を2回開催した。また、水書きで気軽に書道を体験できる「筆書き体験コーナー」や学芸員による「作品解説会」を行った。

その他にも、本年度より奈良教育大学仮名書道研究室の協力により子ども向けの夏休みクイズやわらべうたフェスタでのかな書き体験のワークショップ、さらには未就学児童を対象にした「はじめての子ども筆書き体験講座」等の連携事業を行った。

また、奈良市ならまちセンターとの共催により「第2回ならまち年賀状コンクール」や名勝大乗院庭園文化館での出張パネル展「華邨の心の書の世界」の開催、動画配信による「散らし遊び」等により奈良市杉岡華邨書道美術館の広報普及を行った。

催事等の開催回数 44回 参加人数 10,189人

(2) スポーツ・武道振興事業

[指定管理施設]

管理施設の利用者数は以下のとおりであった。

※（ ）内は対前年度比

奈良市鴻ノ池陸上競技場等 11 体育施設

利用者数 510,823人 (△3.7%)

奈良市鴻ノ池陸上競技場

奈良市鴻ノ池球場

奈良市鴻ノ池コート

奈良市中央体育館

奈良市中央第二体育館

奈良市南部生涯スポーツセンター体育館

奈良市柏木コート

奈良市南部生涯スポーツセンターコート

奈良市柏木球技場

奈良市南部生涯スポーツセンター球技場

奈良市南部生涯スポーツセンター多目的コート 以上11施設

奈良市中央武道場等 4 体育施設

利用者数 105,924人 (73.7%)

奈良市中央武道場

奈良市中央第二武道場

奈良市弓道場

奈良市鴻ノ池相撲場 以上4施設

奈良市西部生涯スポーツセンター屋内温水プール等 18 体育施設

利用者数 273,468人 (1.9%)

奈良市緑ヶ丘球場

奈良市西部生涯スポーツセンター体育館

奈良市青山プール

奈良市西部生涯スポーツセンター屋内温水プール

奈良市黒谷コート

奈良市平城第一コート

奈良市平城第二コート

奈良市青山コート

奈良市佐保山コート

奈良市西部生涯スポーツセンターコート

奈良市黒谷球技場

奈良市平城第一球技場

奈良市平城第二球技場

奈良市奈良阪球技場

奈良市登美ヶ丘球技場

奈良市西部生涯スポーツセンター球技場

奈良市西部生涯スポーツセンターゲートボール場

奈良市西部生涯スポーツセンタークラブハウス 以上18施設

奈良市鴻ノ池陸上競技場等11体育施設を指定管理者の奈良市スポーツまちづくり推進パートナーズ代表ミズノスポーツサービスと協同で管理運営を行い、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に努め各施設、記録会や大会を開催した。JFLサッカーチーム奈良クラブがJリーグ昇格に必要な条件を全てクリアしてJ3に昇格し、開幕戦をホームグラウンド、ロートフィールド奈良で開催した。今年度も「Top Sports City 奈良」のパートナーチームの南都銀行女子ホッケー部もトレーニング室を定期的に使用した。

ボランティア団体「鴻ノ池フィールドサポーターズクラブ」を設立し清掃、美化促進活動を行った。また、SNS「【公式】ロート奈良鴻ノ池パーク」を開設し、施設情報を配信した。

改修により使用停止していたロート奈良テニスコートや南部生涯スポーツセンター体育館の工事が終了し、利用を再開した。柏木運動公園については、改修に伴い11月から事務所及び管理棟が撤去された。

ロートアリーナ奈良には、バンビシヤス奈良のトップスポンサーであるロート製薬株式会社より企業版ふるさと納税でオーロラビジョンが設置された。

奈良市西部生涯スポーツセンター屋内温水プール等18体育施設では、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じて屋内温水プール、体育館、屋外施設の運営をした。屋内温水プールについては、防火扉改修工事のため、約1ヶ月休業したが前年度より利用者数が約5,100人の増加となった。

奈良市青山プールは、7月21日から8月31日の42日間、無休で開場した。今年度は、入場制限を廃止して運営したことにより6,647人の入場者数で前年度より約1,800人の増加となった。

(事業内容)

体育、スポーツ及び武道の普及振興を図ることにより、健全な心身の維持及び発達並びに明るく豊かな生活の形成に寄与するための事業を実施した。

○奈良市鴻ノ池陸上競技場等11体育施設

奈良市スポーツ協会に加盟している各種団体と連携して競技スポーツの教室や健康増進につながる事業を実施した。また、「Top Sports City 奈良」のパートナーチーム「バンビシヤス奈良」、「奈良クラブ」と提携してバスケットボールスクール、サッカースクールを開催した。新規事業として「硬式テニス1DAYスクール」、「優しいヨガ教室」を開催した。「少年少女陸上教室」、「ジョイトレ」、

「バドミントンスクール」等、感染症対策を講じた上で開催した。

催事等の開催回数 758回 参加人数 13,458人

○奈良市中央武道場等4体育施設

武道発祥の中心地として、剣道・柔道・なぎなた・槍術・弓道等の各種武道関連団体との連携協力のもと武道教室を開催し、人格の形成、道徳心の向上、礼節を尊重する心の養成を図るとともに、武道人口の裾野の拡大及び武道の更なる発展・活性化に努めた。

新型コロナウイルス感染症の影響により中止になっていた教室を予定どおり開催したことにより、参加者数が増加した。

催事等の開催回数 1,337回 参加人数 24,138人

○奈良市西部生涯スポーツセンター屋内温水プール等18体育施設

屋内温水プールや体育館を活用した「水泳教室」や「ダンベル教室」をはじめ、利用者からの要望もあり、今年度から「たのしいエアロビクス教室」の新規事業を開催した。今年度は事業の中止期間もなく、開催回数が前年度より増えたことにより参加者数が約4,500人の増加となった。

催事等の開催回数 946回 参加人数 17,856人

(3) まちづくり振興事業

[指定管理施設]

管理施設の入館者数は以下のとおりであった。 ※（ ）内は対前年度比

奈良市ならまちセンター	入館者数	143,337人	(68.0%)
奈良市音声館	入館者数	41,752人	(4.8%)
なら工藝館	入館者数	33,843人	(29.8%)
入江泰吉記念奈良市写真美術館	入館者数	27,935人	(52.2%)
入江泰吉旧居	入館者数	3,974人	(12.2%)
奈良市ならまち格子の家	入館者数	57,678人	(105.5%)

新型コロナウイルス感染症の影響で施設の利用制限、事業の中止もあったが、多くの施設は入館者が前年度より増加した。

奈良市ならまちセンターでは、一部事業の中止が発生したが、1階飲食等スペースのギャラリーにおいて様々な展示や子どもたちが参加できるワークショップ等を行い、約58,000人の増加となった。

なら工藝館でも3年ぶりに工芸フェスティバルを開催、観光客等の増加により約7,700人増加した。

入江泰吉記念奈良市写真美術館では、話題性のある写真家を取り上げたことや若年層への写真芸術の普及に努めて、約9,600人の増加となり復調の傾向にある。入江泰

吉旧居も同様に、約400人の増加となり、着実にコロナ禍以前の状態へと戻りつつある。

奈良市ならまち格子の家は、開館日こそコロナ渦前に戻ったが、まだ、インバウンドの普及や外出を控える傾向があり、約29,000人の増加にとどまった。

(事業内容)

なら・まほろば景観まちづくり条例に基づく奈良町都市景観形成地区を中心とした「ならまち」において、地域の文化振興・活性化のための事業及び広報啓発事業を実施した。

○奈良市ならまちセンター

当初、自主及び企画事業を18事業予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し、開催可能であると判断した10事業と新規事業3事業の計13事業を開催した。

「ならまちいきいきフェスタ」と称した文化祭の再開や奈良出身の出演者を起用した「ならまち新春コンサート」や「ならまち落語会」、地域やNPOとの協働事業「子どもおん祭」や周辺施設との共催による「古文書講座」、また昨年8月にオープンした1階ギャラリーでは奈良の魅力を発信するアート展示やワークショップ、奈良市や十津川村と連携した「東部マルシェ」、「十津川村公園」を開催した。

催事等の開催回数47回 参加人数 102,136人

○奈良市音声館

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止または規模縮小をしていた教室等の事業を通常通りの開催に戻した。奈良で古くから歌い継がれてきた“わらべうた”を後世に伝える「ならまちわらべうた教室」、子どもに伝統文化や音楽を学ぶ場として「伝統文化を学ぼう～子どもお茶教室・子どもいけ花教室・子ども和裁教室（新規開講）～」、「子ども邦楽教室～箏・三味線～」を行った。また「大人の邦楽～浄瑠璃・箏～」を新たに開講した。奈良の民話普及事業では、民話を題材にした創作ミュージカル公演を2月に開催した。また大型紙芝居の定期公演やアウトリーチ活動として小学校等への出張公演やならまち格子の家での民話の語り公演を行った。わらべうた普及事業である「出張わらべうた教室」は徐々に依頼が戻り、年間を通して開催した。夏休みに行う「子ども制作教室」も実施を再開し、楽器作りを行った。

一方、同館エントランスホールを会場とする催し「エントランスコンサート」、「やわらぎコンサート」、また多くの参加者が見込まれる「ミュージックフェスティバル」は引き続き開催を見送ったが、コロナ禍に始めた「スタインウェイピアノを弾いてみよう」は、好評のため引き続き2ヶ月ごとに行い、さらに夏休みには子ども向けの同催しを行う等、事業の拡大を図った。

催事等の開催回数 256回 参加人数 4,816人

○なら工芸館

工芸制作教室（10種目・11教室）を通年で開催した。また、伝統工芸後継者育成制度による第6期生3名の研修生が、工房主の下での研修及び当館において制作実演を行った。3年ぶりの開催となった奈良工芸フェスティバルでは、各種工芸体験や制作実演等を開催したほか、夏休み期間中には子どもを対象にした工芸教室も開催した。また、一刀彫や奈良団扇等の「一日体験工芸教室」を開催した。

常設展示室の作品展示では、5月に「日本伝統工芸近畿展IN奈良2022」、奈良工芸フェスティバル開催期間中に「奈良伝統工芸展」、2月には「御所人形六十年の軌跡黒川和江」を開催した。

催事等の開催回数 210回 参加人数 25,847人

○入江泰吉記念奈良市写真美術館

展示事業では、入江泰吉が亡くなって没後30年の節目を迎えることから、入江の写真人生を振り返る企画を展開した。入江の出世作「文楽」や戦後の懐かしい風景やスナップ、仏像、万葉の風景と入江の代表作を紹介した。特に「万葉の風景とみほとけ」展では、小中学生に関心を持っていただけるようメタバース（web上の3次元の仮想空間）の実証実験としてマターポートを活用し新しい鑑賞体験を提供した。また本年は春日若宮式年造替という記念の年であり、春日大社と連携して、入江泰吉「春日野」展の開催をはじめ、春日大社着到殿で石井陽子氏の鹿写真展を開催するなど写真美術館の誘客に努めた。その他、マーク・ピアソンフォトコレクションから須田一政の紹介や新鋭展では、国内外で活躍する女性3人の作家（鵜川真由子、野口靖子、石井陽子）を取り上げ、奈良在住の太田順一、木村伊兵衛賞、林忠彦賞と写真業界で大きな賞を受賞し高く評価されている藤岡亜弥の写真展を開催する等、話題性のある写真家の展覧会を開催したことで新たな客層の誘客にもつながった。

展示事業以外では、本年度からメタバースの実証実験として、智辯学園高校写真部と協力してメタバース内での展覧会や「ならまちわらべうたフェスタ」では、「みんなでつくるメタバース美術館」と称して、子どもたちが撮影した写真をメタバース美術館に展示、入江泰吉の代表作をメタバース美術館に公開する等、世界へと情報発信するとともに、子どもたちに写真美術館を知っていただく良い機会としてとらえ事業展開した。また、奈良県高等学校写真部会と共催で総合文化祭や写真部活性化のための事業開催や奈良市立小学校への出張講座等、若年層への写真芸術の普及に努めた。

こうした取り組みの成果と新型コロナウイルス感染症が収束に向かってきたことで、大きく参加者の増加に転じた。

催事等の開催回数 70回 参加人数 17,735人

○入江泰吉旧居

講座イベント等については、感染症対策を講じた上で、「はじめの一句」や「入江

泰吉さんぼみち」、「入江泰吉の眼を歩く」等を実施したが、暗室を使つての事業や「お抹茶でひとやすみ」といった飲食の伴う事業は、回数の削減や中止、その中でコロナ禍の影響が小さくなってきたこともあり、前年度と比べて参加人数が少し増加した。

催事等の開催回数 39回 参加人数 264人

○奈良市ならまち格子の家

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じて来訪者に対する案内業務（受付やならまち観光の見所紹介）や「ならまちの歴史と町並み紹介」の常設展示、共催事業として、「奈良の民話を楽しもう」を年8回開催した。協力事業として、池田千恵子絵画展を10月、なら町家研究会による「欄間付格子」パネル展を1月、3月にまなざしギャラリー（和紙写真、陶芸作品展示）を開催した。

催事等の開催回数 42回 参加人数 7,156人

(4) 勤労者福祉サービス事業

[指定管理施設]

管理施設の入館者数は以下のとおりであった。 ※（ ）内は対前年度比

奈良市勤労者総合福祉センター 入館者数 50,040人 (△4.7%)

奈良市勤労者総合福祉センターでは、新型コロナウイルス感染拡大防止対策による施設利用制限、主催事業の中止により入館者数は減少した。

(事業内容)

地域経済の担い手である中小企業勤労者を対象に、福祉の向上及び余暇活用の充実、生活の安定を図るため、総合的な福祉事業を実施した。

○奈良市勤労者総合福祉センター

人数制限等、感染症対策を講じた上でパソコン教室やヨガ教室、陶芸教室のほか、各種教室を開催した。

催事等の開催回数 71回 参加人数 6,001人

○勤労者福祉サービスセンター事業部門

企業内福祉をサポートする役目を担い、勤労者の福利厚生の実現に役立つ事業を実施した。具体的には、市内の中小企業の事業所に対し、福祉事業の内容について広報を行うとともに加入の促進を図った。また、福利厚生事業として会員及びその家族を対象に、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた上での施設割引利用、会員の相互扶助を基本とした各種給付事業、健康維持・健康増進事業及び文化各種教室の受講費補助を行う健康管理事業並びに貸付斡旋事業を実施した。

本施設における各事業に対する利用者数

施設利用事業 延べ人数 16,695人

健康管理事業	延べ人数	2,919人
給付事業		956人

(5) 都祁地域振興事業

[指定管理施設]

管理施設の入館者数又は利用者数は以下のとおりであった。※（ ）内は対前年度比

奈良市都祁交流センター	入館者数	12,152人	(31.7%)
奈良市都祁体育館	利用者数	8,893人	(△1.5%)
奈良市都祁生涯スポーツセンターコート	利用者数	2,873人	(△6.8%)
奈良市都祁生涯スポーツセンター球技場	利用者数	14,903人	(3.0%)
奈良市都祁生涯スポーツセンター多目的コート	利用者数	290人	(68.6%)
奈良市都祁生涯スポーツセンタークラブハウス	利用者数	20人	(0%)

奈良市都祁交流センターの入館者数は前年度より約2,900人の増加となった。

奈良市都祁体育館については、利用制限はあったが、「e古都なら」ネット予約システムの定着から、奈良市以外の市町村からの来場者も有り、ほぼ横ばいであった。

奈良市都祁生涯スポーツセンター4施設については、利用制限や気候の影響はあったものの、球技場の利用者数は昨年度より約400人増加したが、テニスコートについては、約200人の減少となった。多目的コートについては、球技場のサブコートとしての利用やゲートボールの利用があった。クラブハウスについては、夏季の熱中症対策の控室や更衣室の利用等があった。

(事業内容)

都祁地域においても、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため、屋外及び屋内の事業は中止や利用制限、規模を縮小しての開催となった。4年ぶりに開催した「宝くじ文化公演」について

では、夏頃から準備を進め、コロナ禍ではあったが開催することができ、多くの来館者から高評価を得た。しかしながら、高齢者を対象とした全ての事業は、感染症のリスクが高いということでお互い慎重にならざるを得ない状況で実施には至らなかった。

スポーツ振興事業では、感染症対策を講じながらヨガ教室を2回開催した。また、共催協力事業では、つげ夏祭りが2年ぶりの開催となり、夜空を彩る壮大な花火大会が実施された。都祁公民館・都祁福祉センター・都祁交流センター3館の合同発表会

では、それぞれの施設で活動する自主クラブによる手作り展示会と舞台発表を開催し、地域間・世代間交流を図った。

催事等の開催回数 8回 参加人数 2,425人

貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	268,799,497	279,562,535	△ 10,763,038	
現金	3,495,440	4,692,915	△ 1,197,475	
普通預金	265,304,057	274,869,620	△ 9,565,563	
未収金	42,586,340	8,526,556	34,059,784	
前払金	1,364,270	1,563,770	△ 199,500	
商品	3,249,334	3,466,109	△ 216,775	
貯蔵品	54,083	99,420	△ 45,337	
流動資産合計	316,053,524	293,218,390	22,835,134	
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
定期預金	50,000,000	50,000,000	0	
基本財産合計	50,000,000	50,000,000	0	
(2) 特定資産				
財政変動準備積立金	132,000,000	132,000,000	0	
減価償却引当預金	2,738,791	2,434,188	304,603	
書道芸術振興積立金	36,669,928	36,761,776	△ 91,848	
永年在会給付事業積立預金	4,489,742	7,438,742	△ 2,949,000	
運営基金積立準備預金	8,322,291	8,147,291	175,000	
共済事業引当預金	37,123	394,823	△ 357,700	
記念事業費積立預金	3,484,983	3,484,983	0	
特定資産合計	187,742,858	190,661,803	△ 2,918,945	
(3) その他の固定資産				
車両運搬具	2	304,605	△ 304,603	
什器備品	628,182	46,120	582,062	
リース資産	2,637,360	5,514,480	△ 2,877,120	
預託金	9,140	9,140	0	
その他固定資産合計	3,274,684	5,874,345	△ 2,599,661	
固定資産合計	241,017,542	246,536,148	△ 5,518,606	
資産の部合計	557,071,066	539,754,538	17,316,528	
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	80,013,969	93,871,658	△ 13,857,689	
前受金	551,700	263,350	288,350	
預り金	9,296,055	11,407,627	△ 2,111,572	
リース債務	2,637,360	2,877,120	△ 239,760	
流動負債合計	92,499,084	108,419,755	△ 15,920,671	
2. 固定負債				
リース債務	0	2,637,360	△ 2,637,360	
固定負債合計	0	2,637,360	△ 2,637,360	
負債の部合計	92,499,084	111,057,115	△ 18,558,031	
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
寄付金	86,003,617	86,003,617	0	
指定正味財産合計	86,003,617	86,003,617	0	
(うち基本財産への充当額)	(50,000,000)	(50,000,000)	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(36,003,617)	(36,003,617)	(0)	
2. 一般正味財産	378,568,365	342,693,806	35,874,559	
(うち特定資産への充当額)	(151,739,241)	(154,658,186)	(△ 2,918,945)	
正味財産の部合計	464,571,982	428,697,423	35,874,559	
負債及び正味財産合計	557,071,066	539,754,538	17,316,528	

収 支 計 算 書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産受取利息	9,000	5,100	3,900	
② 特定資産運用益				
特定資産受取利息	45,000	40,732	4,268	
③ 受取入会金				
受取入会金	175,000	169,000	6,000	
④ 受取会費				
受取会費	36,086,000	35,818,250	267,750	
⑤ 事業収益				
入場料収益	43,004,000	9,087,550	33,916,450	
受講料収益	95,127,000	64,422,625	30,704,375	
利用料金収益	9,007,000	6,816,920	2,190,080	
出品料収益	600,000	536,000	64,000	
協賛金収益	3,000,000	3,077,149	△ 77,149	
参加費収益	1,606,000	1,128,000	478,000	
普及事業収益	485,000	132,500	352,500	
小売業収益	3,550,000	2,350,770	1,199,230	
受取手数料	4,212,000	4,564,040	△ 352,040	
事業受託収益	208,000	180,451	27,549	
共催事業管理収益	8,984,000	13,142,760	△ 4,158,760	
その他収益	629,000	1,315,038	△ 686,038	
⑥ 受取補助金等				
受取指定管理料	1,240,317,000	1,282,301,022	△ 41,984,022	
受取地方公共団体補助金	87,595,000	92,473,909	△ 4,878,909	
⑦ 受取負担金				
受取負担金	20,218,000	17,729,790	2,488,210	
⑧ 雑収益				
受取利息	6,000	6,033	△ 33	
雑収益	2,297,000	6,241,235	△ 3,944,235	
運営協力金等収益	2,256,000	2,699,587	△ 443,587	
経常収益計	1,559,416,000	1,544,238,461	15,177,539	

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
(2) 經常費用				
① 事業費				
給料手当	445,293,000	473,537,401	△ 28,244,401	
臨時雇賃金	64,529,000	55,328,184	9,200,816	
福利厚生費	99,109,000	90,606,161	8,502,839	
視察費	100,000	0	100,000	
旅費交通費	903,000	434,840	468,160	
通信運搬費	10,327,000	7,363,219	2,963,781	
減価償却費	3,207,000	3,204,782	2,218	
地方公共団体帰属備品等購入費	119,000	118,800	200	
消耗什器備品費	1,319,000	174,240	1,144,760	
消耗品費	30,467,000	15,864,677	14,602,323	
修繕費	14,876,000	11,719,381	3,156,619	
印刷製本費	13,887,000	9,662,309	4,224,691	
燃料費	1,635,000	1,132,572	502,428	
光熱水料費	266,112,000	298,336,099	△ 32,224,099	
賃借料	31,331,000	27,199,954	4,131,046	
保険料	8,271,000	6,371,841	1,899,159	
諸謝金	46,593,000	34,596,402	11,996,598	
租税公課	63,943,000	62,012,285	1,930,715	
支払負担金	4,210,000	4,100,967	109,033	
支払助成金	48,467,000	43,859,061	4,607,939	
委託費	331,842,000	283,617,931	48,224,069	
会議費	25,000	3,000	22,000	
支払手数料	8,117,000	4,016,590	4,100,410	
広告宣伝費	3,040,000	1,302,300	1,737,700	
仕入	1,574,000	1,166,136	407,864	
交際費	65,000	65,000	0	
原材料費	1,450,000	1,114,222	335,778	
医薬材料費	1,421,000	1,301,155	119,845	
雑費	100,000	3,000	97,000	
② 管理費				
役員報酬	177,000	3,090,000	△ 2,913,000	
給料手当	45,513,000	46,190,015	△ 677,015	
福利厚生費	8,579,000	8,837,532	△ 258,532	
研修費	97,000	60,200	36,800	
旅費交通費	25,000	6,270	18,730	
通信運搬費	298,000	268,554	29,446	
減価償却費	0	120,879	△ 120,879	
消耗什器備品費	315,000	658,218	△ 343,218	
消耗品費	531,000	465,690	65,310	
修繕費	8,000	0	8,000	
印刷製本費	17,000	16,500	500	
燃料費	33,000	28,000	5,000	
賃借料	3,950,000	4,080,733	△ 130,733	
保険料	5,000	3,200	1,800	
諸謝金	450,000	437,500	12,500	
租税公課	41,000	30,977	10,023	

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
支払負担金	135,000	204,850	△ 69,850	
委託費	2,272,000	2,139,500	132,500	
支払手数料	187,000	168,673	18,327	
経常費用計	1,564,965,000	1,505,019,800	59,945,200	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,549,000	39,218,661	△ 44,767,661	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 5,549,000	39,218,661	△ 44,767,661	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
雑益				
雑益	0	2,837,000	△ 2,837,000	
経常外収益計	0	2,837,000	△ 2,837,000	
(2) 経常外費用				
雑損失				
雑損失	0	42,302	△ 42,302	
経常外費用計	0	42,302	△ 42,302	
当期経常外増減額	0	2,794,698	△ 2,794,698	
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 5,549,000	42,013,359	△ 47,562,359	
税引前当期一般正味財産増減額	△ 5,549,000	42,013,359	△ 47,562,359	
法人税、住民税及び事業税	2,957,000	6,138,800	△ 3,181,800	
当期一般正味財産増減額	△ 8,506,000	35,874,559	△ 44,380,559	
一般正味財産期首残高	342,694,000	342,693,806	194	
一般正味財産期末残高	334,188,000	378,568,365	△ 44,380,365	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	86,004,000	86,003,617	383	
指定正味財産期末残高	86,004,000	86,003,617	383	
III 正味財産期末残高	420,192,000	464,571,982	△ 44,379,982	

正味財産増減計算書
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産受取利息	5,100	8,400	△ 3,300	
② 特定資産運用益				
特定資産受取利息	40,732	40,583	149	
③ 受取入会金				
受取入会金	169,000	150,000	19,000	
④ 受取会費				
受取会費	35,818,250	35,710,300	107,950	
⑤ 事業収益				
入場料収益	9,087,550	9,834,200	△ 746,650	
観覧料収益	0	33,900	△ 33,900	
受講料収益	64,422,625	47,872,695	16,549,930	
利用料金収益	6,816,920	7,239,450	△ 422,530	
出品料収益	536,000	528,000	8,000	
協賛金収益	3,077,149	0	3,077,149	
参加費収益	1,128,000	881,300	246,700	
普及事業収益	132,500	43,500	89,000	
小売業収益	2,350,770	1,816,300	534,470	
受取手数料	4,564,040	2,889,910	1,674,130	
事業受託収益	180,451	323,000	△ 142,549	
共催事業管理収益	13,142,760	10,823,220	2,319,540	
その他収益	1,315,038	1,796,396	△ 481,358	
⑥ 受取補助金等				
受取指定管理料	1,282,301,022	1,230,144,961	52,156,061	
受取地方公共団体補助金	92,473,909	94,238,795	△ 1,764,886	
受取民間助成金	0	30,000	△ 30,000	
⑦ 受取負担金				
受取負担金	17,729,790	14,317,400	3,412,390	
⑧ 雑収益				
受取利息	6,033	5,694	339	
雑収益	6,241,235	4,451,449	1,789,786	
運営協力金等収益	2,699,587	1,718,806	980,781	
経常収益計	1,544,238,461	1,464,898,259	79,340,202	

科 目	当 年 度	前 年 度	增 減	備 考
(2) 經常費用				
① 事業費				
給料手当	473,537,401	488,216,897	△ 14,679,496	
臨時雇賃金	55,328,184	52,994,221	2,333,963	
福利厚生費	90,606,161	93,517,548	△ 2,911,387	
旅費交通費	434,840	230,500	204,340	
通信運搬費	7,363,219	7,749,951	△ 386,732	
減価償却費	3,204,782	3,227,841	△ 23,059	
地方公共団体帰属備品等購入費	118,800	0	118,800	
消耗什器備品費	174,240	180,663	△ 6,423	
消耗品費	15,864,677	16,347,356	△ 482,679	
修繕費	11,719,381	12,997,568	△ 1,278,187	
印刷製本費	9,662,309	9,213,567	448,742	
燃料費	1,132,572	956,816	175,756	
光熱水料費	298,336,099	219,622,686	78,713,413	
賃借料	27,199,954	24,465,745	2,734,209	
保険料	6,371,841	6,221,035	150,806	
諸謝金	34,596,402	27,199,227	7,397,175	
租税公課	62,012,285	63,804,427	△ 1,792,142	
支払負担金	4,100,967	4,124,267	△ 23,300	
支払助成金	43,859,061	44,932,384	△ 1,073,323	
委託費	283,617,931	278,214,991	5,402,940	
会議費	3,000	14,237	△ 11,237	
支払手数料	4,016,590	4,227,602	△ 211,012	
広告宣伝費	1,302,300	1,288,100	14,200	
仕入	1,166,136	1,076,514	89,622	
交際費	65,000	29,000	36,000	
原材料費	1,114,222	1,349,850	△ 235,628	
医薬材料費	1,301,155	1,230,432	70,723	
雑費	3,000	3,000	0	
② 管理費				
役員報酬	3,090,000	1,000	3,089,000	
給料手当	46,190,015	51,800,053	△ 5,610,038	
福利厚生費	8,837,532	9,609,954	△ 772,422	
研修費	60,200	199,300	△ 139,100	
旅費交通費	6,270	8,560	△ 2,290	
通信運搬費	268,554	242,171	26,383	
減価償却費	120,879	0	120,879	
消耗什器備品費	658,218	111,870	546,348	
消耗品費	465,690	330,284	135,406	
印刷製本費	16,500	15,950	550	
燃料費	28,000	29,000	△ 1,000	
賃借料	4,080,733	3,914,835	165,898	
保険料	3,200	3,200	0	
諸謝金	437,500	448,500	△ 11,000	
租税公課	30,977	21,413	9,564	

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
支払負担金	204,850	132,089	72,761	
委託費	2,139,500	2,271,500	△ 132,000	
支払手数料	168,673	165,025	3,648	
経常費用計	1,505,019,800	1,432,741,129	72,278,671	
評価損益等調整前当期経常増減額	39,218,661	32,157,130	7,061,531	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	39,218,661	32,157,130	7,061,531	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
① 受取補助金等				
受取地方公共団体補助金	0	6,350,236	△ 6,350,236	
② 雑益				
雑益	2,837,000	4,830,005	△ 1,993,005	
経常外収益計	2,837,000	11,180,241	△ 8,343,241	
(2) 経常外費用				
① 特別退職金				
特別退職金	0	6,350,236	△ 6,350,236	
② 雑損失				
雑損失	42,302	346,500	△ 304,198	
経常外費用計	42,302	6,696,736	△ 6,654,434	
当期経常外増減額	2,794,698	4,483,505	△ 1,688,807	
他会計振替前当期一般正味財産増減額	42,013,359	36,640,635	5,372,724	
税引前当期一般正味財産増減額	42,013,359	36,640,635	5,372,724	
法人税、住民税及び事業税	6,138,800	8,711,100	△ 2,572,300	
当期一般正味財産増減額	35,874,559	27,929,535	7,945,024	
一般正味財産期首残高	342,693,806	314,764,271	27,929,535	
一般正味財産期末残高	378,568,365	342,693,806	35,874,559	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	86,003,617	86,003,617	0	
指定正味財産期末残高	86,003,617	86,003,617	0	
III 正味財産期末残高	464,571,982	428,697,423	35,874,559	

財 産 目 録

令和5年3月31日現在

(単位：円)

科	目	金 額
I 資産の部		
1. 流動資産		
	現金預金	268,799,497
	現金	3,495,440
	普通預金	265,304,057
	南都銀行	260,775,672
	近畿労働金庫	4,528,385
	未収金	42,586,340
	前払金	1,364,270
	商品	3,249,334
	貯蔵品	54,083
流動資産合計		316,053,524
2. 固定資産		
基本財産		
	定期預金	50,000,000
	南都銀行	10,000,000
	近畿労働金庫	10,000,000
	奈良県農業協同組合	10,000,000
	奈良信用金庫	10,000,000
	大和信用金庫	10,000,000
特定資産		
	財政変動準備積立金	132,000,000
	減価償却引当預金	2,738,791
	書道芸術振興積立金	36,669,928
	永年在会給付事業積立預金	4,489,742
	運営基金積立準備預金	8,322,291
	共済事業引当預金	37,123
	記念事業費積立預金	3,484,983
その他固定資産		
	車両運搬具	2
	什器備品	628,182
	リース資産	2,637,360
	預託金	9,140
固定資産合計		241,017,542
資産合計		557,071,066
II 負債の部		
1. 流動負債		
	未払金	80,013,969
	前受金	551,700
	預り金	9,296,055
	リース債務	2,637,360
流動負債合計		92,499,084
2. 固定負債		
	リース債務	0
固定負債合計		0
負債合計		92,499,084
正味財産		464,571,982